

# セミナー・研修企画：情報リスクマネジメント

## 狙い

企業活動における情報システム活用の広がり、電子政府・電子自治体の本格化などの動向を受け、健全な情報システムの構築・運用が強く求められています。一方、ITやネットワーク技術の進歩は急速であり、情報システムが多様化・複雑化しています。こうした環境変化を背景に、安全性、信頼性、有効性などの視点から情報システムがもつリスクを明らかにし、リスクを軽減するための対策（コントロール）を策定することが重要になってきています。

本セミナー・研修は、情報システムのリスク分析からコントロールの策定までのリスクマネジメントについて、体系的に情報を提供します。また、リスク分析に基づいたシステム監査の実施、情報セキュリティ整備という演習を含めた実践的内容のカリキュラムも用意しています。

## 内容

情報リスクマネジメントの標準カリキュラムは次のとおりです。

- （講義 1） 情報システムのリスク分析
- （講義 2） 情報システムのコントロール
- 【演習 1】 情報システムのリスク分析とコントロールの策定
- （講義 3） 情報システムのリスクマネジメントを取り巻く環境

このカリキュラムに続いて、リスク分析結果を受けてのシステム監査の実施、情報セキュリティ整備というカリキュラムも用意しています。

## 対象者

経営者：情報リスクマネジメントは、J-SOX 法対応とも大きく関係し、今や重要な経営テーマとなっています。

情報システムの企画、開発、運用等の業務に携わる方（管理者、担当者）：情報リスクを的確にとらえたうえで、情報システムの企画、開発、運用を計画・実施していくことが重要であり、投資対効果の適正化にもつながります。

情報システムのリスク分析に携わる方：情報リスクの分析、コントロールの策定を行うことのできる人材が求められています。

## 形式

講義とグループ演習を交えた形式とします。標準カリキュラムではグループ演習 1 回、システム監査または情報セキュリティ整備を含めてカリキュラムでは、グループ演習を 3 回行います。

講義のみのコースにすることも可能です。

## 時間

情報リスクマネジメント：5～6 時間

情報リスクマネジメント+システム監査、情報セキュリティ整備：2 日間、12 時間